

「海洋散骨」の実際

——実務上のポイント解説

第3回

海洋散骨を受注する前の事前知識

和田 睦美

一般社団法人全国海洋散骨船協会
事務局長／海洋散骨ディレクター講師



今号では、海洋散骨を事業化する前に「知っておくべきこと」「受注の際に必要な知識や心がけ」などについて進めてまいります。

また、皆様から寄せられた質問のなかに、「お客様に事前に伝えておくべきこと」「船上スタッフと葬祭スタッフとの連携などについて」といったものがありましたので、その点についても触れたいと思います。

なお、事前説明については厚生労働省発の「散骨ガイドライン（散骨事業者向け）」にも、「教育訓練を受けた従業員が事前説明を行うこと」と謳われています。

今回は受注から散骨、帰港までの流れに沿ってお客様への対応や船舶スタッフとの関係についてみていきましょう。

受注時（打合せ時）

事前に伝えておくべきこと

海洋散骨を希望されるお客様との打合せで、はじめにしなければならないことがあります。それは、海洋散骨をすることが本当にお客様にとってよいことなのかどうかについて、いま一度、考えていただくことです。

海洋散骨事業者にとっては矛盾することかも知れません。しかし、海洋散骨をご希望されるお客様の多くは、そのことだけに集中しています。

昨今、テレビなどで海洋散骨の特集が組まれていますが、お客様の声に、

「散骨は何もなくなってしまうので寂しい」「散骨してしまったら、どこに向かって手を合わせればよいかわからない」といった声が多数あがっていると解説する番組を見かけます。

であるとするならば、そもそも、散骨を受注した会社が行なっているお客様への事前説明不足がこうした声を招いてしまったのではないかと疑念を抱くことが多くなったからです。こうした後悔の念をもたせてしまうようでは失格だと思いますので、いま一度、熟考いただくことをお勧めします。

次に、確認すべきことは、「遺骨の全量を散骨する」「一部を残して散骨する」という点です。もちろん、その選択権はお客様にありますし、いままでは、手許供養品も多彩なものが市販されています。お客様（ご遺族）にとって最適な方法とは何か、についてはお客様自身に考えていただくことが海洋散骨事業者（ディレクター）の役目なのです。

お客様の現在の状況を正確に聞き取ることが重要です。たとえば、火葬後、自宅に保管されていたご遺骨なのか、現在お墓に入っているご遺骨なのか、お墓のなかにどれくらいの期間収められていたのか、墓じまいのための散骨なのか、といったことです。

なぜかといえば、一度お墓に納骨されたご遺骨の多くは水分を含んでいるからです。実は、この状態では粉骨機にかけられないため、乾燥が必要です

（粉骨については次回のテーマで取り上げます）。

次に、希望される散骨の形態について打合せを行ないます。代行散骨なのか、ご遺族が乗船して散骨するのか、乗船される人数は、乗船されるお客様のなかで何人が散骨されるのか、といったことです。

乗船される人数が少なければ、問題ありませんし、合同散骨をお勧めすることも可能ですが、人数によってチャーターしなければならない船舶が異なります。また、散骨する人数に合わせて粉骨したご遺骨を小袋に分けて用意しなければなりません。

服装についても事前説明が必要です。これは、安全に航海をしていただくためです。陸上に比べ海上はとても寒いため、必ず1枚余分に衣服を用意していただき、航海中の船上デッキなどで寛いでいただくのであれば、風を通さない上着を用意していただくといったことです。

そのほか、締め付けのきつい服装や滑りやすい靴、スカートは避けていただくように説明します。

また、公共の棧橋はレジャー施設としての要素が強く、喪服は嫌われますので、棧橋側の意見も聞いておく必要があります。実際、公共棧橋から出航する散骨船の乗客はほぼ平服です。

船上スタッフとの コミュニケーションと連携

船上スタッフとのコミュニケーションで最も重要なことは、船長と日頃から散骨について話し合っておくことです。

たとえば、散骨船には多くの高齢者が乗船することが想定されます。この際、船の揺れは大きな負担となります。船や海域にもよりますが、船長としては風速8m程度の風であれば出航したいと考えるでしょう。しかし、高齢者にとっては大きな負担となります。ましてや、散骨の際には手すりから両手を離してご遺骨を投じるため、足腰の弱っている方には危険が伴います。

こうしたことを船長にもよく理解していただくこと。さらに、自身も天候の予測などで船長と対等に話ができるようにしておくことが大切なのです。

乗下船の際には船上スタッフとの連携が必要となります。一般的な小型船ではギャングウェイ（飛行機のタラップのような手摺がついた廊下や階段）などがない場合が多く、乗船の際には手で掴まる場所、足を置く場所などを説明し、荷物は預かって陸側のスタッフから船上スタッフに渡すことになります。この際、陸上側と船内に必ずスタッフを配置しなければならないため、複数の人員が必要になります。

ライフジャケットの使い方についても、自身で説明できるようにしておきましょう。乗船時の落水は大変危険ですので、できれば陸上でライフジャケットを着用していただき、同時にラ

イフジャケットの取り扱いについても説明することをお勧めいたします。

航海中は船長や乗組員は航海に集中していますので、お客様のフォローは散骨スタッフが請け負うこととなります。

散骨スタッフはお客様に対して、船酔いなどされていないかといったことに注意を払いつつ、これからの航海や散骨セレモニーについての事前説明を行いません。

お客様が船酔いしそうな場合などは、デッキに案内する、または新鮮な空気を室内に入れる、窓の外に視線を移すよう、船上から見える景色の案内なども行なう必要があります。特に、船に弱い方は一度酔ってしまうと、そこからの回復は非常に困難ですので、とにかく酔わないように事前に対処することが重要です。

散骨海域での案内

セレモニーは、散骨海域に到着後スタートしますが、その進行役を担うのが海洋散骨ディレクター（葬祭スタッフ）です。

セレモニー進行中は、基本的に船上スタッフが口を挟んでくることはありません。ただし、演出として船を旋回させたり、献酒、献花の順序や段取りなどについては、船長と事前に打合わせをしておくことが重要です。もちろん、演出中、船の汽笛を鳴らすタイミ

ングについても事前に打合わせが必要です。

散骨の際、海上に船を停泊させると、大きく揺れますのでくれぐれもお客様が落水しないよう注意してください。その予防策として、海洋散骨ディレクターはライフジャケットのベルトなどをすぐに掴める位置に待機しますが、自身も甲板に立った状態から一人の体重を支えることはできません。必ず片手は手摺やハンドルなどを掴んでおくようにしましょう。これを怠ると、海洋散骨ディレクターも一緒に落水することとなってしまいます。

帰路中に留意すべきこと

セレモニー終了後、いよいよ帰港となりますが、その際、観光案内など、お客様とのコミュニケーションを図るようにしてください。

その際、どのポイントでどこを案内するのかなどを事前に決めておくといいでしょう。

帰港した際、お客様を陸上へ案内しますが、乗船時同様、下船時にも落水に注意する必要があります。船上スタッフ、葬祭スタッフともに帰港時は気が緩みがちです。

乗船時同様、お客様の手荷物は預かり、先に陸上のスタッフに渡して、お客様は手ぶらの状態で下船していただきます。

お客様を陸上に案内した後は、本日



和田 睦美 (わだ むつみ)

2016年6月、全国海洋散骨船協会設立とともに事務局長に就任。19年、理事会の要請により、「海洋散骨ディレクター」テキストを編纂。20年1月には、第1回海洋散骨ディレクター講習にて講師となり、現在も継続中

のお礼、ご遺族に対する労いの言葉をにしてしっかりと伝えます。お別れの際の印象は、お客様にとって記憶に残りやすいものですから、しっかりと挨拶を交わし次回の受注につなげましょう。

後日

海洋散骨を終えた後は、散骨証明書を発行します。散骨証明書には、散骨地点の地名のほか、緯度、経度、証明する人として受注した会社名を入れ、船名と船長名なども入れておくといでしょう。

散骨地点の緯度、経度については、散骨中に船長からGPSの画面を写真などで送ってもらえば手間がかかりません。緯度経度が記載されていれば、法要クルーズを受注した際にも確実に同

じ地点へ行くことができます。

これ以外にも伝えるべきことは多々ありますが、誌面の関係上、やむなく割愛させていただきます。

詳しく知りたいと思われるようでしたら、是非、海洋散骨ディレクター講習にご参加ください。



全国海洋散骨船協会

■(一社)全国海洋散骨船協会の概要

所在地：東京都渋谷区東3-25-10 T&Tビル
設立：2016年6月
理事長：志賀 司
加盟社数：正会員12社（2024年3月現在）



協会HP/海洋散骨ディレクター講習
についてはこちらから

散骨事業関連バックナンバーのご案内

2024年5月号



1冊
定価5,500円(本体5,000円)
別途送料

特集

発展・拡大する「海洋散骨」

〈序論〉 拡大基調の散骨マーケット
事業者求められるモラルとマナー

〈ケーススタディ〉

- ▶ 東都典範(セレモニーグループ) [東京都渋谷区]
- ▶ 千代田 [茨城県古河市]
- ▶ オフィス未来 [東京都大田区]
- ▶ セレモニーきょうどう [札幌市白石区]
- ▶ SPICE SERVE [東京都大田区]
- ▶ 和布刈神社 [北九州市門司区]

2021年3月号



1冊
定価4,070円(本体3,700円)
別途送料

特集

「海洋散骨」という選択肢

〈序論〉 ニーズの高まりとともに浮上する
法的整備という課題

〈ケーススタディ〉

- ▶ 中田 [和歌山県田辺市]
- ▶ オフィスぎくら [広島市中区]
- ▶ 雨龍庵 [熊本県上天草市]
- ▶ 君商 [千葉県南房総市]

ご購入はこちらから

月刊フューネラルビジネス バックナンバー

